

令和5年 2月 24日

関係者各位

産総研コンソーシアム
持続性木質資源工業技術研究会
事務局

第48回研究会開催のお知らせ

拝啓 平素より、本研究会活動にご協力いただきありがとうございます。

さて、来たる3月28日(火)に、【別紙1】の要領にて第48回研究会を開催いたします。

誠に残念ながら、新型コロナウイルス拡大防止のため、前回に引き続き全面WEBでの開催となりました。皆様のご理解のほど、よろしくお願い致します。

今回取り上げるテーマは、『住宅インフラを支えるマルチマテリアルの最前線』です。

2020年10月に、政府が2050年時点での二酸化炭素排出を実質ゼロにするカーボンニュートラルを目指すことを宣言し、実現に向けた省エネ・脱炭素化が進められています。ここでの「実質ゼロ」というのは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林・森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しており、森林資源の維持管理や用途拡大が重要な意味を有しています。そのため、政府は「脱炭素の基盤となる重点対策」の一部として、「住宅・建築物の省エネ性能等の向上」を挙げています。一方で、近年顕在化している気候変動に伴い、今後、豪雨や猛暑のリスクが更に高まることが予想されています。気候危機とも言われるこの状況において、種々の災害に強い住宅・都市建築物、社会インフラの構築整備による国土の強靱化が喫緊の課題とされており、住宅レジリエンスの強化とそれに資するマルチマテリアル部材の開発にも注目が集まっています。

本研究会では、木材・木質材料に関係したマルチマテリアル技術の最新動向について、特に住宅インフラ分野に焦点を当てながら、課題や今後の展望について皆様と共有したいと思います。また、マルチマテリアル化において重要な接着・接合について、産総研が所内横断的に設置している「接着・界面現象研究ラボ」や、多様な接着技術に対して産学官連携を推進する「接着・接合技術コンソーシアム」をご紹介します。当会の皆様との意見交換の場を提供します。木質利用とマルチマテリアル化に関わる要素技術を抽出・育成し、さらに社会実装することを目指して、当会が中心となり発展させていけるよう、是非ともご協力の程よろしくお願い致します。

本研究会に参加を希望される方は、【別紙2】に記載のURLから登録Formsに必要事項をご記入くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

- 【日 時】 令和5年3月28日(火) 13時00分～16時00分
- 【会 場】 オンライン(接続先はお申込み後にお知らせいたします。)
- 【主 催】 産総研コンソーシアム 持続性木質資源工業技術研究会
- 【後 援】 産総研マルチマテリアル研究部門、中部科学技術センター(予定)
- 【プログラム】 別紙1
- 【参加費】 無料

プログラム

『 住宅インフラを支えるマルチマテリアルの最前線 』

13:00～13:10 開会挨拶・趣旨説明

13:10～14:00 『 レジリエンス強化に資する住宅インフラ分野における

マルチマテリアル技術の最新動向調査 』

近年、住宅インフラ分野において、環境負荷が少なく、自然災害等に対するレジリエンスの強化を可能とするマルチマテリアルの適用が進められている。本調査では当該分野におけるマルチマテリアルの開発・採用状況、課題について、国内外で報告されている文献調査及び国内の総合建設業者へのヒアリング調査により把握した。

株式会社工業市場研究所 第1事業本部
池田 浩

14:00～14:40 『 CLTと鉄骨を組み合わせたハイブリッド構造の適用事例と

中高層木造建築実現のための技術開発 』

中高層木造建築を実現するために不可欠となる技術開発に関する取り組み内容に触れながら、防火地域において構造体 CLT をあらわしとして実現した耐火 CLT 建築に関する事例を、建物のコンセプトや CLT と鉄骨を組み合わせた考案技術、施工法と合わせて紹介する。

株式会社竹中工務店 大阪本店設計部構造部門構造 12G
國府田まりな

14:40～15:20

『 高機能繊維と木材の複合による新建材 LIVELY WOOD®がもたらす可能性 』

帝人株式会社では、CFRPと木材を複合した新しい建築材料である「LIVELY WOOD®」を開発している。本発表では、LIVELY WOOD®の開発の背景、LIVELY WOOD®の特性・物性、これまでの採用実績などを紹介するとともに、現在抱えている課題と今後の展開について発表する。

帝人株式会社 マテリアル新事業部門 スマート&セーフティ事業推進班
佐藤 嘉弘

15:20～16:00 『 産総研における接着関連研究と

接着・接合技術コンソーシアムを利活用した産学官連携構築 』

産総研では領域横断的に「接着・界面現象研究ラボ」を設置し、主に構造用接着技術に関して研究開発を行っている。また、多様な接着技術に対して様々な社会ニーズをキャッチアップすることで産学官連携構築ならびに国家プロジェクト立案などを鑑み、「接着・接合技術コンソーシアム」を立ち上げている。本研究では、産総研で実施している接着関連研究およびコンソーシアムの活動概要について紹介する。

国立研究開発法人産業技術総合研究所 接着・接合技術コンソーシアム
田嶋 一樹

産総研コンソーシアム持続性木質資源工業技術研究会
第48回研究会 『住宅インフラを支えるマルチマテリアルの最前線』
参加申込み

申込み締切り 令和5年3月24日(金) 正午

申込ページ URL (Forms)

<https://forms.office.com/r/x894kBAGcT>

《お申込み・お問い合わせ先》

〒463-8560

名古屋市守山区桜坂四丁目 205 番地

国立研究開発法人産業技術総合研究所 中部センター内

産総研コンソーシアム持続性木質資源工業技術研究会 事務局

TEL: (052) 736-7575

E-mail: jizokusei-mokushitsu-ml@aist.go.jp